

演芸欄 其他

岸田國士

青空文庫

どうも困つた役目を引受けたものです。今週は新聞を二種類余計取つて、演芸欄、文芸欄に目を通し続け、何か変つた問題はないか、何か週評の種はないかと、丸ではたの見る目も気の毒なくらゐ心を砕いたのですが、どうしてもこれはと思ふ題目が見つからない。

誰か芝居の道に明るい知人にでも会つたらと、さう気がついて見ても、此の三四日、毎日食塩注射をするやうな重態の老母を、看護婦や年の行かない弟妹に預て、のらくら出歩くこともならず、実に進退谷つてしまひました。

そこへもつて来て、S君から、「期日を忘れるな」といふ脅迫

状が舞込む。人間、これくらゐ不幸なことはありません。

前回に、「その序言」とやらで、口幅つたいことを云ひましたが、かうなると、えゝい、芝居なんかどうにでもなれ、といふ気が起る。

そこで、つらく考へて見ると、新聞の演芸欄ほど頼りにならないものはありません。

第一、色々なことが書いてあつてもそれが嘘か本当かわからない。嘘と云つては失礼だが、例の「噂」であるか、「作り話」であるか、「与太^{よた}」であるか、そこがどうもはつきりしない。それを真面目に論評などして、物^{もの} 嗤^{わらひ}になるのもいまましい。

次に、報道の要点が外れてゐる。何々座は何日から開演、出演

女優は誰それ……あとはわからない。

僕が、今週これだけ注意して——恐らく生れて始めて——新聞を読み、その結果、前回に述べたやうな意味で、最も興味を覚えたのは、兄弟座の新劇上演と五九郎氏の新作家招待の二件だと云へます。なほ、それにつけ加へれば、読売新聞が、劇作家正宗白鳥氏を拉し来つて諸家の意見を求めてゐることです。

兄弟座を形造る俳優諸君について、僕は何も云ふ資格はない。ただ、歌舞伎劇の畑に育つた年少気鋭の諸君が、新劇殊に外国劇の演出に手馴れた女優諸姉と提携して、新作現代劇にぶつかつて行かうといふ意気と抱負とは、正に刮目すべきでありませう。聞けば、日本当代の名優菊五郎氏が総監督をされるとのこと、察する

に、菊五郎氏の眼は——少くとも眼だけは——今、来るべき時代
に向けられてゐるのではありますまいか。兄弟座に幸あれ。

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集19」岩波書店

1989（平成元）年12月8日発行

底本の親本：「時事新報」

1924（大正13）年11月19日

初出：「時事新報」

1924（大正13）年11月19日

入力：tatsuki

校正：Juki

2008年11月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

演芸欄 其他

岸田國士

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>